

第二回 国指定名勝楽山園投句会入選作品

期間 平成二十六年十二月一日～平成二十七年三月三十一日

選者 高橋洋一（絹俳句会主宰・群馬県俳句作家協会会長）

一般の部

賞	作 品	住 所	氏 名
最優秀賞	老松に武士の風格空つ風	埼玉県	河瀬 俊彦
優秀賞	冬の虹楽山園を覆ひたり	前橋市	下山 信行
優秀賞	冬座敷に一景を成す茶釜かな	甘楽町	中山 初代
優秀賞	名園を束の間無垢に雪化粧	甘楽町	大河原 久江
入 選	いにしえと我をつなぐや梅の風	沼田市	角田 みち枝
入 選	甘楽野や桑消えて冬深みゆく	埼玉県	加藤 俊二
入 選	織田の史を秘めて城下の冬の靄	甘楽町	島田 う免代
入 選	寒晴れや弓射る目研ぎ澄ます	前橋市	中澤 不二
入 選	庭園に借景といふ山笑ふ	甘楽町	清水 佳子
入 選	七代の眠れる墓所や雪浄土	藤岡市	黒沢 蓮子

小学生の部

特別賞	おだやかで山的那びえは桃源郷	埼玉県	竹野 彩美
特別賞	雪ふってだるまを作る子どもたち	栃木県	大塚 美来
特別賞	雪空にジェラートの花輝けり	埼玉県	高木 麻子